



令和2年(2020年)第24週 2020年6月8日(月)~2020年6月14日(日)

# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



今週は、ダニ媒介感染症の日本紅斑熱の報告が1件あり、今年2件となりました。今年、1例目は、80代女性で、2例目は60代男性です。感染経路は不明ですが、畑や山林に行かれていました。ダニ媒介感染症は他につつが虫病や重症熱性血小板減少症候群(SFTS)などがあります。春季~秋季にかけて患者報告数が多くなるのが特徴的で、屋外で作業される際は、気を付けましょう。

## ●日本紅斑熱、つつが虫病

日本紅斑熱は日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに刺されることで、つつが虫病はつつが虫病リケッチアを保有するツツガムシに刺されることで感染します。



厚生労働省 「ダニ媒介感染症」



・潜伏期間…日本紅斑熱は2~8日、つつが虫病は10~14日・症状…日本紅斑熱は頭痛、発熱、倦怠感を伴って発症します。つつが虫病と同様に発熱、発疹、および刺し口が主要三徴候で、ほとんどの症例にみられます。つつが虫病との臨床的な鑑別は困難ですが、つつが虫病では発疹が主に体幹部にみられるのに対し、日本紅斑熱では体幹部より四肢末端部に比較的強く出現します、またつつが虫病に比べ、刺し口の中心の痂皮部分が小さいなどの特徴があります。検査所見では、つつが虫病と同様にCRPの上昇、肝酵素(AST、ALT)の上昇、白血球減少および血小板減少などがみられます。日本紅斑熱はつつが虫病に比べ播種性血管内凝固症候群(DIC)など重症化しやすいです。・治療…抗菌薬の投与。

## ●重症熱性血小板減少症候群(SFTS)

主にSFTSウイルスを保有するマダニに刺咬されることで感染します。

・潜伏期間…6~14日・症状…発熱、消化器症状(はき気、おう吐、腹痛、下痢、下血)を主徴とし、ときに、腹痛、筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴う。血液所見では、血小板減少、白血球減少、血清酵素(AST、ALT、LDH)の上昇が認められます。致死率は10~30%程度です。・治療…対症療法

日本紅斑熱患者報告数

	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2) R2.6.14現在
全国	215	277	337	305	318	85
熊本県	11	19	14	7	6	2
熊本市	1	0	1	0	1	2

## ◆予防法は？

- ①森林や草地などマダニが多く生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴などを着用し、肌の露出を少なくしましょう。DEETやイカリジン(虫よけ剤の成分)を含む虫よけスプレーも有効です。
- ②屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、頭部(髪の毛の中)がポイントです。ダニが吸着する前に、活動後すぐにシャワーを浴びることも有効です。
- ③吸血中のマダニに気がついた場合は、自分で無理に引き抜くとダニの一部が皮膚に残って化膿したり、マダニの体液が逆流することがありますので医療機関を受診しましょう。マダニに咬まれた後に発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診した際にマダニに咬まれた可能性があることを伝えてください。
- ④野生動物は、どのような病原体を保有しているかわかりませんので、野生動物との接触は避けてください。飼育している動物との過剰な触れ合い(口移しでエサを与えたり、動物を布団に入れて寝ること等)は控えましょう。飼育している動物のマダニは適切に駆除し、動物が体調不良の際には、動物病院を受診することも必要です。

期 間		2020年 23週		2020年 24週	
		6/1~6/7		6/8~6/14 (最新)	
疾患名 <small>(百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症	➡	0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)	➡	4	0.25	4	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	9	0.56	7	0.44
感染性胃腸炎	➡	30	1.88	24	1.50
水痘(みずぼうそう)	➡	4	0.25	0	0.00
手足口病	➡	5	0.31	3	0.19
伝染性紅斑(りんご病)	➡	0	0.00	0	0.00
突発性発しん	➡	13	0.81	20	1.25
ヘルパンギーナ	➡	0	0.00	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	➡	0	0.00	1	0.06
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)	➡	7	1.40	4	0.80
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	0	0.00	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	1	0.20	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	➡	0	0.00	0	0.00